



安積山

郡山市立日和田小学校

学校 便り No.69

令和4年2月1日

文責：校長 伊藤 孝行

今日から2月（如月）に入りました。



今日から2月に入りました。

風はまだ冷たいものの太陽の光が強くな

ったような気がして嬉しく感じます。



2月は、日本の昔の呼び方では「如月（きさらぎ）」と言います。この言葉のもとになったのは、寒いため重ね着をしたことを「着るものをさらに重ねて着

る月」⇒「着さらに着る月」⇒「如月（きさらぎ）」となったということです。

「冬来りなば春遠からじ」（イギリス、シェリーの詩「西風の賦」の一節から）という有名な言葉もあります。寒さだったり新型コロナウイルスだったり大変なことが続きますが、つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来るという言葉信じて、もう少し頑張りましょう。

新型コロナウイルスの感染が広がっています。

福島県内でも、連日400人を超える新規感染者が出て、医療機関も逼迫するような事態になっています。

誰もが不安を抱える時に心配になってくるのが、子どもたちの間で、コロナに関する差別や偏見が生まれてくることです。

国立成育医療研究センターのアンケート調査では、「自分や家族がコロナにかかったら秘密にしたい」が68%、「コロナになった人とは治っても遊びたくない」が22%いました。

郡山市でも、幼稚園、小学校、中学校での感染も広がっている今の状況では、「いつ、だれが感染」してもおかしくありません。ついては、子どもたちには以下のことを指導し、偏見や差別を生まないようにしてまいります。

① 感染対策をしても誰でも感染する可能性はある。

② 感染しても誰も悪くない。悪いのは新型コ

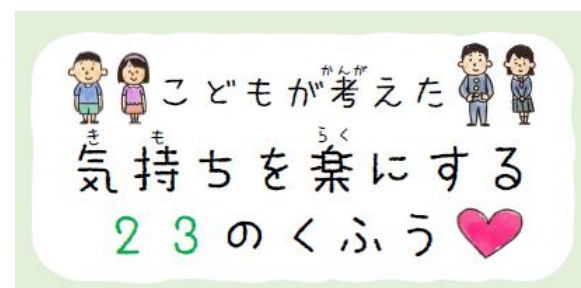
ロナウィルスです。

③ 治れば問題なく普通に接することができる。

④ ワクチンや薬もあるので心配し過ぎない。

子どもが考えた気持ちを楽にする23のくふう

国立成育医療研究センターのホームページには、子どもがストレスを発散できるようにするヒント集が掲載されています。今回は、その一部を紹介しします。詳しくはHPをご覧ください。



県教委から出された感染リスクが高い行動例

【学校内における行動例】

- 近い距離でマスクをはずした会話や接触等（握手など含む）
- 向かい合った近い距離でのマスクをはずした飲食等（昼食など含む）
- 向かい合った近い距離での合唱や発声練習等（運動部の声出しなど含む）
- 運動部における2人1組で行う接触頻度の高いトレーニングやストレッチ等
- 複数の生徒によるソーシャルディスタンスの確保が困難な部室や狭い居室の利用
- 飲食を伴うレクリエーション